

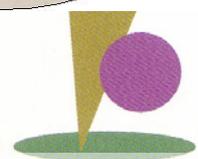
平成20年度

上京区運営方針



平成20年6月

京都市上京区役所



はじめに

上京区は、平安京以来の長い歴史の中で醸成された伝統と文化の薫り高いまちであり、質の高い市民文化が息づいています。また、西陣に代表される産業と暮らしの結びついた「職住共存」のまちでもあります。更に明治以来、住民の自治が発達し、現在も学区ごとに住民福祉協議会などが中心となって、それぞれ個性的な自治活動が展開されています。私たちは、このような上京区の歴史と伝統を継承し、区の更なる発展を目指した歩みを進めてまいらなければなりません。

上京区では、区のまちづくりの将来像を掲げた上京区基本計画(平成13年1月策定)に基づき、区の個性を活かした魅力あふれるまちづくりを推進しているところです。特に重点的に取り組むべき事項を明確にし、区民の皆様と共にこの計画をしっかりと推進するため、ここに6つの重点課題と政策推進方針を盛り込んだ平成20年度上京区運営方針を策定いたしました。

これら重点課題の実現のためには、区民の皆様や区内の各種団体、大学とのパートナーシップにより協働のまちづくりを進め、互いの役割と立場を認識しながら、有機的な取組を進めていく必要があります。

区役所は、区民の皆様方にとって最も身近な総合行政機関としての役割を果たし、地域のまちづくり拠点としての機能を発揮するとともに、区民ニーズを的確に把握し、それぞれのニーズに十分応えられるようその機能の充実を図るなど、今後ともますます区民から信頼される区民の目線に立った良質なサービスの提供に取り組んでまいらなければなりません。

こうした中、上京区役所では、更なる区民サービスの向上を目指し、それぞれの所属において、職員一人ひとりが改めて目標と課題を再認識し、区民の皆様のことを第一に考え、区民の皆様が真の主人公となるまちづくりに取り組んでまいります。

上京区といたしましては、赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせるまち、歴史と伝統を活かしたにぎわいと活力のあるまち上京を共に築いてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成20年6月

上京区長 北條 和仁

1 平成20年度上京区重点課題と政策推進方針

(1) 重点課題の抽出

平成13年1月に策定いたしました上京区基本計画におきましては、その理想とする将来像「暮らしが息づき伝統と文化の薫るまち」の実現のため、①成熟した市民文化の息づくまちづくり、②にぎわい産業のまちづくり、③自治と福祉のまちづくりの3つの大きな柱からなる構想を展開することとしております。

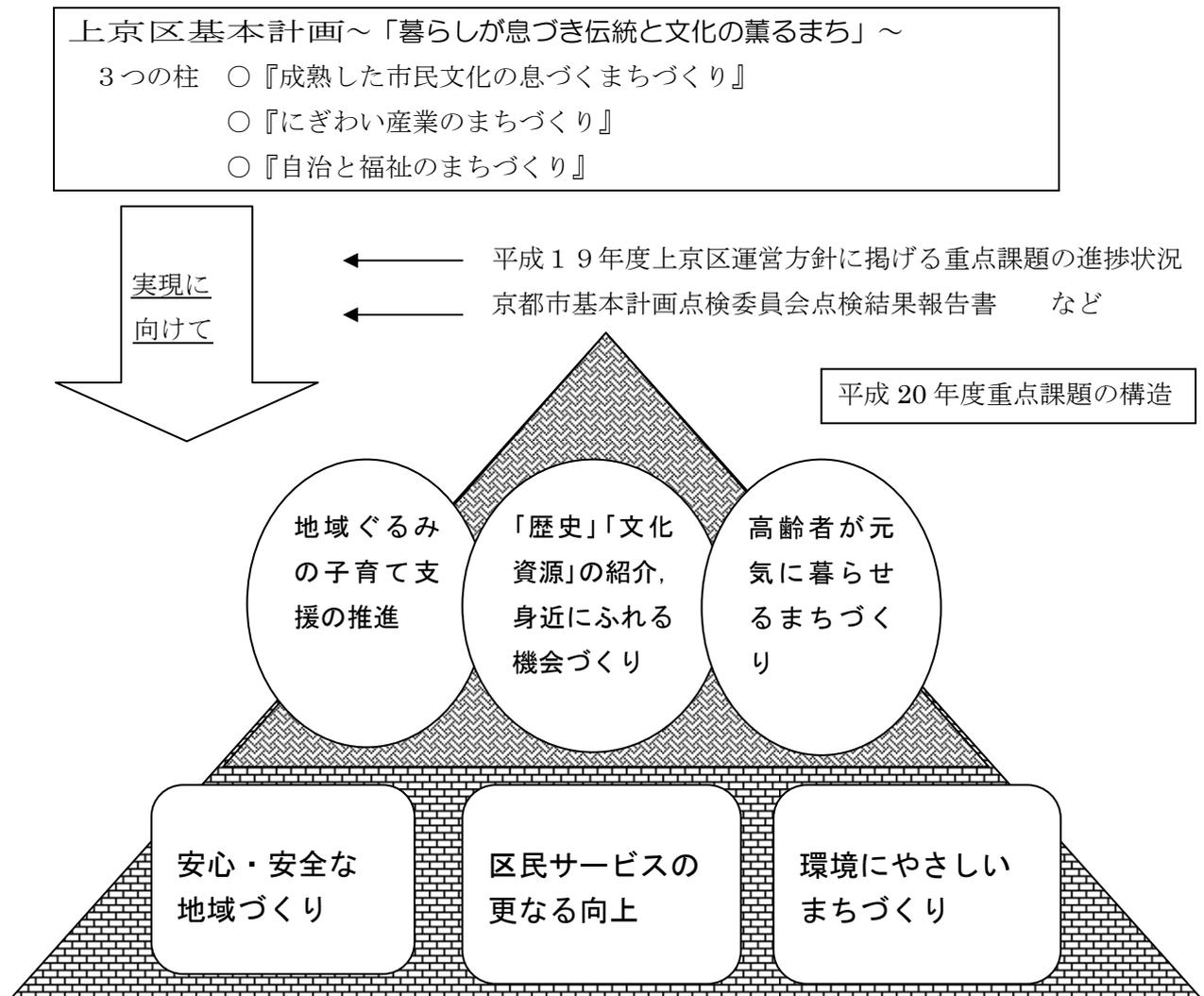
平成20年度の重点課題の抽出に当たりましては、平成19年度上京区運営方針に掲げた6つの重点課題の進捗を踏まえ、また、京都市基本計画点検委員会点検結果報告書の内容を参考にして、次のとおり6つの課題を抽出し、取り組むべき政策推進方針を取りまとめました。

<すべての区政運営・まちづくりの礎となる課題>

- ① 区民サービスの更なる向上
- ② 安心・安全な地域づくり
- ③ 環境にやさしいまちづくり

<特に上京区を取り巻く情勢やその個性を活かしたまちづくりの課題>

- ④ 地域ぐるみの子育て支援の推進
- ⑤ 高齢者が元気に暮らせるまちづくり
- ⑥ 「歴史」「文化資源」の紹介、身近にふれる機会づくり



(2) 各重点課題と政策推進方針

ア 区民サービスの更なる向上（区民部，福祉部，保健部）

重点課題

区役所は地域における総合行政機関として、区民の方々の生活に身近で、きめ細やかな総合的行政サービスを提供しています。これまでに昼休み時間帯における窓口業務の実施、窓口フロアサービス員の配置、一部業務の取扱時間の部分延長などを実施してきました。

また、区政改革の取組の一つとして「市民サービス向上計画」の取組を推進し、区民の目線に立った区役所づくりを進めています。

一方、区民サービスの拠点となる現在の庁舎は、保健所が別庁舎となっており、また、老朽化が著しく、維持管理にかかる費用も年々増加しております。区民からの要望も強く、早期に総合庁舎の建設が必要であります。

<現在の庁舎の状況>

| | 区民部・福祉部 | 保健部 |
|------|-------------------------------|-------------------------|
| 竣工 | 昭和 12 年(中央棟), 昭和 57 年増築(東・西棟) | 昭和 38 年(現地に新築移転) |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 3 階建て(地下 1 階) | 都市再生機構の今出川 |
| 敷地面積 | 2, 8 5 0 m ² | 堀川団地 1 階及び 2 階 |
| 延床面積 | 4, 1 3 0 m ² | 1, 3 4 9 m ² |



平成 19 年度の実績

現庁舎敷地での建替えを基本に、周辺敷地の確保に向け、土地開発公社において先行買収交渉を行いました（継続中）。

政策推進方針

地域における総合行政機関としての区役所の役割を明確にするため、各所属において、区民サービスに対する取組目標・課題等を再確認し、区民の目線に立った区役所づくりを更に推進します。

また、区民サービスの拠点となる総合庁舎化については、区民の利便性の向上と効率的な業務推進を図るため、上京区政 130 周年を迎える平成 21 年までには、総合庁舎の建設に向けた基本計画を具体化できるよう関係機関等にはたらきかけてまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 区民サービスに対する各所属における課題等の再確認、具体的取組の公表・実施・検証
- ・ 建設に向けた基本計画の具体化のための周辺敷地の確保



イ 安心・安全な地域づくり(区民部，福祉部，保健部)

重点課題

地域における日々の暮らしに関わる問題が増加・深刻化しており、日常生活における安心・安全の確保は、区役所や警察署、消防署などの行政機関の取組だけで果たせるものではありません。市民一人ひとりの主体的な意識・行動はもとより、地域住民が互いに力を合わせることによる地域の自主的な取組がなければ、実現し難いものになってきています。

近年の少子化や長寿化、核家族化といった急激な社会情勢の変化のなか、地域の住民同士の結びつ

きを一層強め、活性化していくことが大きな課題になっています。

また、自然災害等による甚大な被害を想定した取組も重要であります。

<「地域の安心安全ネットワーク形成事業」推進状況>

●：助成対象年度 ○：自主継続

| | 成逸 | 室町 | 乾隆 | 西陣 | 翔鸞 | 嘉楽 | 桃菌 | 小川 | 京極 | 仁和 | 正親 | 聚楽 | 中立 | 出水 | 待賢 | 滋野 | 春日 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 17 | | | | | | | | ● | | | | | | | | ● | |
| 18 | | | | | | | ● | ● | | ● | | | ● | | ● | ● | |
| 19 | | | ● | ● | | | ● | ● | | ● | | | ● | | ● | ● | ● |
| 20 | ● | | ● | ● | | | ● | ○ | ● | ● | | | ○ | | ● | ○ | ● |
| 21 | ● | | ● | ● | | | ○ | ↓ | ● | ○ | | | ↓ | | ○ | ↓ | ● |
| 22 | ● | | ○ | ○ | | | ↓ | | ● | ↓ | | | | | ↓ | | ○ |
| 23 | ○ | | ↓ | ↓ | | | | | ○ | | | | | | | | ↓ |

平成19年度の実績

地域の特色を活かし、地域住民と区役所、学校、警察署、消防署などの関係機関が連携を取り合い、防災、防犯、福祉、健康、子どもの安全などに関する多様な取組を展開する「地域の安心安全ネットワーク形成事業」が、新町小学校区(小川・中立・滋野学区)と待賢学区、桃菌学区及び仁和学区で引き続き推進されたほか、新たに乾隆学区、西陣学区及び春日学区で取組がスタートしました。社会的弱者である子どもや高齢者を守る取組を通じて、地域自治活動の更なる活性化などが図られました。

また、福祉に関する安心・安全情報の共有化を目指し、上京区社会福祉協議会と共に上京区福祉総合マップ「上京ふくしマップ」を発行するとともに、同協議会のホームページにも掲載するなど、取組が進められました。

保健部では、感染症予防や食中毒発生対策などの健康危機管理に取り組みました。特に平成20年6月のサミット外相会合に向けて関係機関と協力しながらテロ対策にも取り組んでまいります。

自然災害等による甚大な被害を想定した上京区総合防災訓練を実施するとともに、上京区社会福祉協議会との間で、ボランティアの受入れ、被災地への派遣、支援活動ボランティアニーズ等の把握を行う「上京区災害ボランティアセンターに関する覚書」を締結しました。



政策推進方針

これまでの各学区での取組の成果や地域における「安心・安全情報の共有化」などの残された課題を踏まえ、「地域の安心安全ネットワーク形成事業」の上京区内全学区への拡大を目指し、新たに2学区を加え、取組を推進してまいります。

保健の分野では、健診や健康教室の充実、食の安心・安全の確保等の取組、感染症や食中毒などの予防についての普及啓発、発生時対応を進めてまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 「地域の安心安全ネットワーク形成事業」：元学区単位での取組を支援
(新規：2学区、継続：桃菌、仁和、乾隆、西陣、待賢、春日の6学区、インセンティブ終了・取組自主的継続：新町小学校区)

ウ 環境にやさしいまちづくり（区民部）

重点課題

本市は、COP3開催都市であり、「京都議定書」の採択地である。あらゆる分野で環境を基軸とした政策を展開することを掲げ、環境に優しい事業活動の推進に取り組んでいます。

現在、循環型社会の実現に向けてリターナブルびん（生きびん）等の拠点回収やコミュニティ回収制度、プラスチック製容器包装の分別収集のほか、使用済み天ぷら油の回収などの取組が進められており、区内におきましてもこれらの取組が積極的に進められています。

区基本計画においても、「クリーンでグリーン豊かなまちづくり」として、区民ぐるみで環境保全を大切に考え、行動するまちを目指し、ごみの減量化など日常生活の視点からの環境保全の取組や身近な緑化や公園の整備等を通じて、緑豊かな美しいまちづくりを進めることとしております。

<地域における自主的な取組>

| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 |
|------------|-----|------|-------|-------|
| 天ぷら油市民回収拠点 | 上京区 | 230 | 226 | 233 |
| | 全市 | 965 | 1,013 | 1,174 |
| コミュニティ回収拠点 | 上京区 | 34 | 84 | 147 |
| | 全市 | 99 | 521 | 1,265 |



平成19年度の実績

環境月間などに関する市民しんぶん上京区版や上京区ホームページへの啓発記事を掲載することにより、区民の意識向上に寄与しました。また、区役所内においては、一般家庭に先駆け、4月からプラスチックごみを分別。古紙の回収を徹底し、ごみ減量に取り組みました（一般廃棄物排出量は前年度比30%の減量を達成）。

更に、上京区文化振興会と協働して、公募したボランティア(15名)が区役所庁舎玄関前に花を飾り、庁舎に彩りを添える「みんなで花を咲かそう」ボランティア活動（環境パートナーシップ事業）の取組を行いました。

政策推進方針

今年度は、更なる循環型社会の推進に向け、市民しんぶん上京区版への関連記事の掲載など、様々な機会を通じてより効果的な普及・啓発に努めてまいります。

また、平成17年9月にISO14001認証取得した区役所におきましては、資源ごみの分別を推進するとともに、使用済み天ぷら油回収拠点と位置付けるなど、環境に配慮した取組を更に積極的に推進し、環境にやさしい区役所づくりに努めてまいります。

更に、平成19年度にスタートした「みんなで花を咲かそう」ボランティア活動に引き続き取り組みます。

<主な具体的取組案>

- ・ 市民しんぶん上京区版、上京区ホームページへの啓発記事の掲載
- ・ 区役所内における資源ごみ分別の推進
- ・ 「みんなで花を咲かそう」ボランティア活動



エ 地域ぐるみの子育て支援の推進（福祉部,保健部）

重点課題

歴史と伝統を有する上京区において次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つためには、発達した自治の精神を生かして地域ぐるみで子育て支援を推進する仕組みをつくることが求められています。区としての子育て支援に関わるネットワークを活かし、子育てに関わる各種団体や行政機関が有機的に連携する地域の子育て支援システムを充実させる必要があります。

<出生率及び15歳未満人口>

| | 全市 | 北 | 上京 | 左京 | 中京 | 東山 | 山科 | 下京 | 南 | 右京 | 西京 | 伏見 |
|-------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 出生率 | 1.1 | 1.1 | 0.9 | 1.04 | 0.87 | 0.79 | 1.2 | 1.05 | 1.33 | 1.19 | 1.28 | 1.28 |
| 15才未満 | 12.1 | 11.6 | 9.4 | 10.6 | 10.0 | 7.5 | 12.7 | 9.6 | 12.5 | 12.8 | 15.1 | 13.5 |

（注）出生率は平成17年、15才未満は平成19年10月現在の推計人口（%）

平成19年度の実績

子ども支援センターだより「ぱたぼん」を隔月発行するなど、子育て支援情報の収集・共有・発信に努めました。また、「上京の子どもまつり2007」の実施を通じて、多世代にわたる地域における子どもの成育環境づくりと地域のふれあい、情報交換の提供を進め、上京区における歴史と伝統の継承・紹介を行いました。

更に、子育て支援に関する種々の情報を収集・共有・発信するとともに、子どもとその家庭が抱える問題解決に資するため、平成17年に「上京子育て支援連絡会」を設置しました。今年度は、実務者を中心に各団体等から60名が参加して、講演「子育てはみんなの力で～親・子を支援する地域づくり～」とグループ討議を行い、各機関や地域での取組状況についての把握・共有や意見交換を行いました。



保健部では、妊娠中から始まる母子保健事業を通して、健康相談、健康診査、訪問活動などを行い、子どもたちの健やかな育ちを支援していますが、新生児訪問未利用者、乳幼児健診未受診者全員に対して電話・訪問により状況把握と健診受診の勧奨を行い、孤立した子育ての解消に取り組みました。地域での子育て支援として、地域における仲間づくり、交流を目的に「すくすく育児サポート教室」を開催しました。育児不安や育児困難を抱える保護者・家庭に対しては、関係機関と連携をとりながら支援を行いました。

政策推進方針

「上京子育て支援連絡会」におきましては、関係団体との連携を深めるため、実務者レベルでの研修会、意見・情報交換会の取組を進めてまいります。

また、関係団体・関係機関により開催される「上京の子どもまつり」につきましては、地域のふれあいと子育てに関する交流の場の提供を進め、上京区における歴史と伝統の継承・紹介することを目的に平成12年度から実施されているものであり、上京区独自の事業として積極的に取り組んでまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 「上京子育て支援連絡会」の開催
- ・ 「上京の子どもまつり」の実施

オ 高齢者が元気に暮らせるまちづくり（福祉部,保健部）

重点課題

近年、急速に少子長寿化が進んでおり、高齢者を取り巻く社会環境は大きく変化をしてくれています。65歳以上の人口の割合が本市で2番目に多い上京区（高齢化率24.9%、市平均21.6%、平成19年9月15日現在）では、高齢者一人ひとりが自らの意思に基づき、住み慣れた地域でいきいきと健やかに暮らせる地域づくりが大きな課題となっています。

| | 全市 | 北 | 上京 | 左京 | 中京 | 東山 | 山科 | 下京 | 南 | 右京 | 西京 | 伏見 |
|-------|------|------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 65歳以上 | 21.6 | 22.6 | 24.9 | 22.3 | 22.1 | 28.9 | 21.1 | 23.7 | 20.4 | 21.9 | 18.1 | 20.2 |

（注）平成19年9月15日現在推計人口（%）

平成19年度の実績

上京区地域包括支援センター運営協議会の開催により、地域包括支援センターの適正な運営、公正・中立性の確保に向けた体制づくりが図られました。また、敬老記念品お祝い訪問（88歳、100歳）を通じて、訪問を受けられた高齢者、児童・保護者・先生や民生児童委員の皆様が共生社会の一員である喜びを噛み締められました。

一方、介護予防に関する取組として、保健所内や地域における筋力トレーニング教室のほか、講座や健康教室、相談などを通じて、介護予防の普及・啓発や実践、また地域での交流・仲間づくりも図られました。

政策推進方針

福祉分野では、介護保険の制度の活用、上京区社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動への支援、地域包括支援センターを中心とした関係機関との連携を進めてまいります。

保健分野では、高齢期における健康保持のために、生涯を通じた生活習慣病予防対策、壮年期からの健康づくりを保健協議会等地域の団体と連携して取り組んでまいります。

高齢者の保健福祉を推進するため、地域の各種団体（民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、保健協議会連合会、医師会等）との連携を強化し、関係機関のネットワークづくりを進めるとともに、住民の主体的参加を促し、地域への普及啓発を進めてまいります。

<主な具体的取組案>

- ・関係機関のネットワークづくり
- ・健康づくり事業（健康づくり出前教室、健康づくりグループ育成等）



カ 「歴史」「文化資源」の紹介、身近にふれる機会づくり（区民部）

重点課題

上京区は、平安遷都以来1200年の長い歴史を有し、政治の舞台として、また、茶道をはじめとする文化・芸術、西陣織に代表される商工業のまちとして栄えてきました。小川通沿い、千両ヶ辻界わい、北野界わいでは特色ある景観の維持・増進が図られています。

しかし、観光寺院や名所も少なく、観光客も決して多くありません。京都を訪れる観光客は、歴史

愛好家やリピーターが比較的多く、上京区はこれらの方々を引き付ける潜在的な魅力を有しています。

区民自らが、これら魅力に身近に触れ、そして継承していくとともに、豊かな歴史・文化資源に係る情報を広く全国に発信し、多くの人々が訪れるにぎわいのあるまちづくりの推進が求められています。

<文化財：国宝，重要文化財は平成19年4月1日現在，市指定登録は平成20年2月25日現在>

| | | 全市 | 北 | 上京 | 左京 | 中京 | 東山 | 山科 | 下京 | 南 | 右京 | 西京 | 伏見 |
|-------|-------|------|-----|-----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|-----|
| 国宝 | 建造物 | 40 | 5 | 2 | 4 | 1 | 8 | 0 | 5 | 5 | 3 | 0 | 7 |
| | 美術工芸品 | 171 | 15 | 9 | 25 | 2 | 23 | 1 | 6 | 21 | 54 | 1 | 14 |
| 重要文化財 | 建造物 | 200 | 27 | 12 | 22 | 4 | 54 | 2 | 15 | 14 | 24 | 3 | 23 |
| | 美術工芸品 | 1586 | 145 | 192 | 266 | 49 | 251 | 13 | 54 | 65 | 415 | 15 | 121 |
| 市指定登録 | 建造物 | 91 | 8 | 10 | 12 | 17 | 10 | 5 | 9 | 2 | 9 | 4 | 5 |
| | 美術工芸品 | 209 | 25 | 24 | 31 | 14 | 26 | 7 | 9 | 4 | 56 | 4 | 9 |

<観光客の主な訪問地：平成18年京都市観光調査年報から>

①清水寺,②嵐山,③金閣寺,④銀閣寺,⑤南禅寺,⑥高台寺,⑦八坂神社,⑧嵯峨野……⑱京都御所

<上京茶会，上京薪能来場者数の推移>

| | 元年 | 5年 | 10年 | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 |
|------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 上京茶会 | 814 | 996 | 1,231 | 877 | 860 | 898 | 868 | 830 |
| 上京薪能 | 592 | 720 | 907 | 518 | 597 | 643 | 770 | 600 |

平成19年度の実績

上京区役所におきましては、上京区文化振興会との共催により、区民にとって恒例行事となった上京茶会や上京薪能などの実施により、身近に伝統文化や芸能に触れる機会を提供してまいりました。

また、区内の史蹟や文化資源を紹介する冊子「上京・史蹟と文化」を年2回発行し、区内全世帯に配布しています。

築100年近くの町家を活用し、上京ならではの歴史や文化情報を収集・発信する「上京歴史探訪館」を区民、大学、行政の協働の下、春季及び夏～秋季に開館し、全国から2,500名を超える来館者を迎え、京都・上京の魅力を感じていただきました。また、上京歴史講座「西陣の魅力へようこそ」、源氏物語千年紀事業・連続講座「源氏物語の世界を知る」を実施しました。



政策推進方針

年間の恒例行事として親しまれている取組などを通じて、上京区の有する「歴史」「文化資源」にこれまで以上により多くの区民が身近に触れ、その魅力を享受し、また、広く全国に発信していく取組を進めてまいります。

更に、これまでにあまり知られていなかった魅力を掘り起こし、地域の皆さんで共有していく取組を推進してまいります。

<主な具体的取組案>

- ・ 上京茶会（年2回）、上京薪能(9月)などの実施、冊子「上京・史蹟と文化」(vol.35・36)発行
- ・ 上京歴史探訪館(3月～5月、7月～11月に開館)の運営支援、関連イベントの実施
- ・ 源氏物語千年紀事業「京都創生の地(平安宮)・源氏物語の世界をみんなで再発見」

2 区役所の役割と目指すべき姿

(1) 区役所の役割

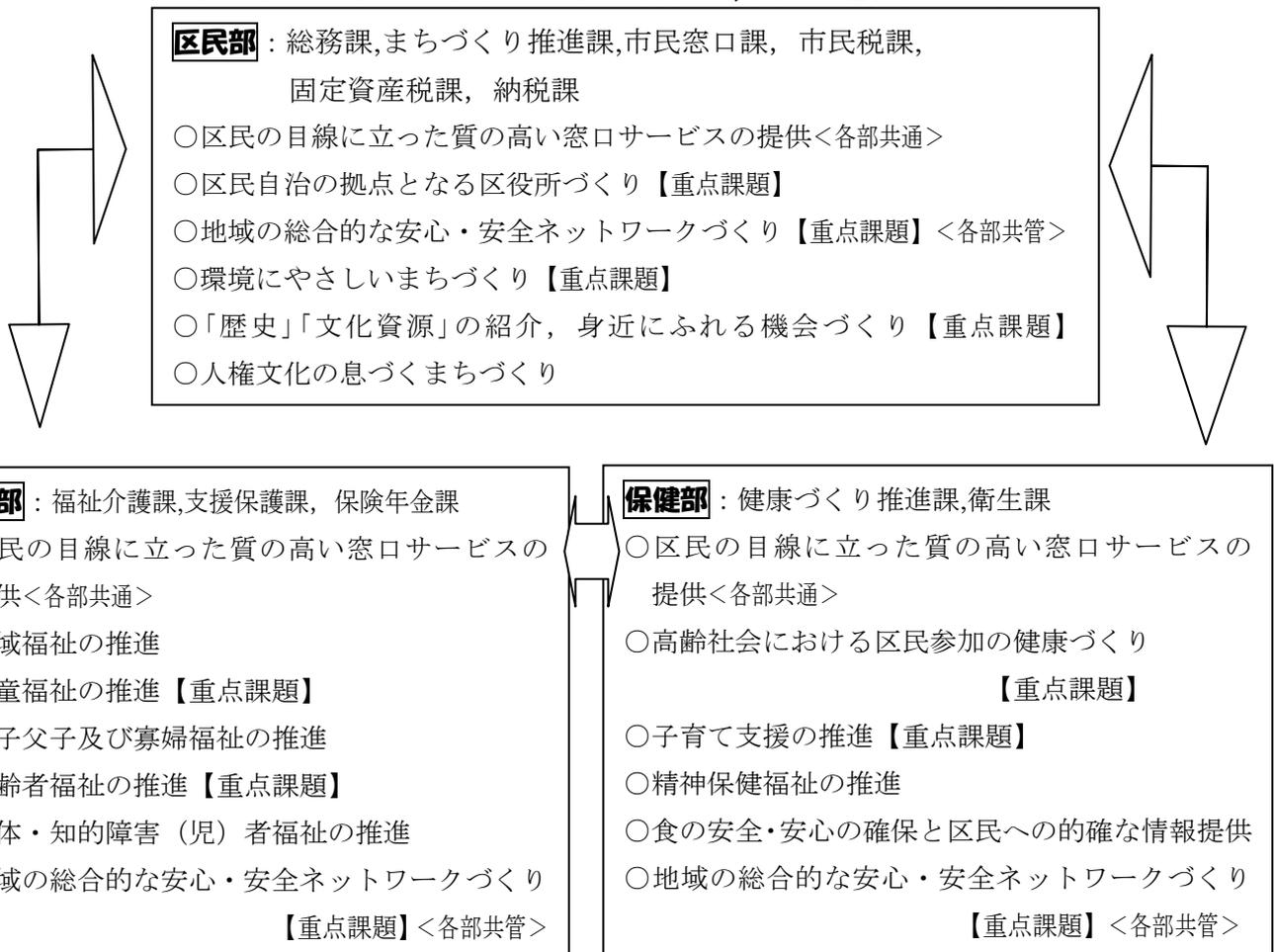
- ア 住民登録・戸籍事務や国民健康保険，市税に関する事務など区民生活に欠かすことができない業務を適正・公平かつ効率的に執行すること
- イ 地域のまちづくり活動支援や，福祉・保健，子育てに関する支援など区の特성에応じた身近な行政サービスを提供すること
- ウ 地域との協働，関係行政機関や本庁各局と連携し，区の個性を活かした魅力あるまちづくりを推進すること

(2) 区役所を目指すべき姿

- ア 区民の目線に立ったサービスの改革(印象の良い，分かりやすい窓口対応の充実等)
- イ 区民の声を区政・市政の意思形成過程に反映させるための仕組みづくり
- ウ 区基本計画の推進に向けた取組
- エ 区行政の総合性向上のための組織運営方法の改革

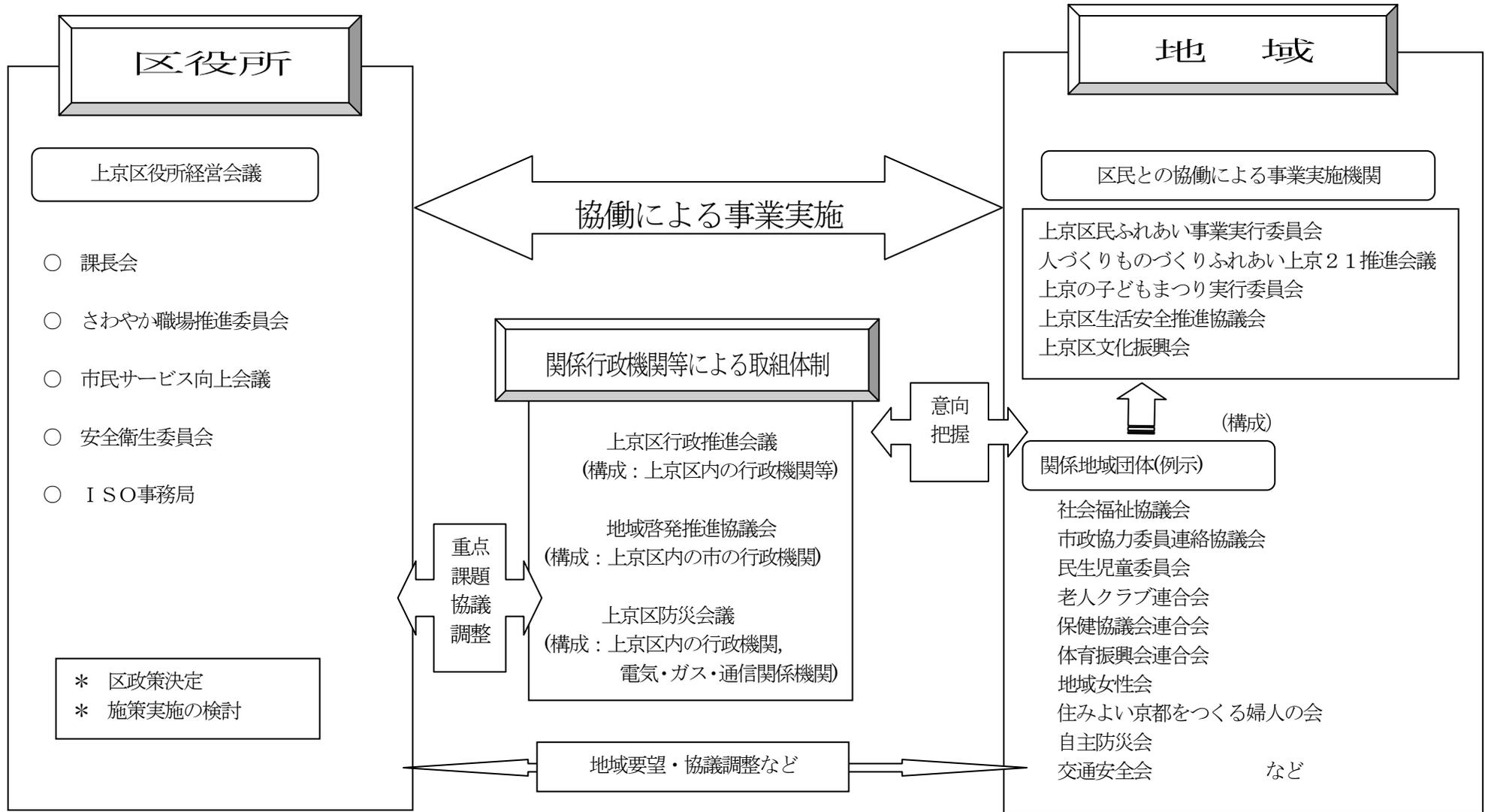
3 区基本計画・重点課題の推進体制

(1) 各部の構成及び役割～各部の役割・目標の明確化,各部の連携強化を図る～



(2) 区民や関係機関との連携～目指すべき区民や関係機関との連携のあり方～

区運営方針の推進には，区役所内における体制を確立するとともに，区民や関係機関との連携を欠かすことはできません。区民のニーズを的確に把握し，目指すべき姿を共有し，様々な取組を進めていく必要があります。その模式図は別図のとおりです。



1 平成19年度上京区運営方針に掲げる重点課題等の進捗状況（平成20年3月現在）

（1）区民自治の拠点となる区役所づくり（区民部）

現庁舎敷地での建替えを基本に、周辺敷地の確保に向け、土地開発公社において先行買収交渉を行った。

（2）地域の総合的な安心・安全ネットワークづくり（区民部、福祉部、保健部）

ア 地域の安心・安全ネットワーク形成事業

（ア）新町小学校区安心安全推進会議（平成17年度～）

○交通安全教室，○子どもと高齢者とのふれあい会，○高齢者を見守り励ます活動，○大規模災害に強いまちづくり活動，○子どもを見守り励ます活動

（イ）桃菌自治連合会（平成18年度～）

○子ども見守り隊の活動継続，○我が家の外灯点灯運動，○高齢者ふれあい茶話会と会食の集い，
○子ども子育て支援事業

（ウ）仁和福祉団体連合会（平成18年度～）

○子どもの見守り活動と挨拶運動，○交通安全講習会・交通安全教室の開催，○子ども防火塾の開催

（エ）乾隆自治連合会（平成19年度～）

○「けんりゅう防災員」の創設，○乾隆防災マップの作成，○交通安全教室の開催，○児童とお年寄りのふれあい交流会

（オ）西陣住民福祉協議会（平成19年度～）

○学区内全町パトロール

（カ）待賢住民福祉連合協議会（平成18年度～）

○こども110番の家スタンプラリー，○介護予防体操，○認知症研修会

（キ）春日住民福祉協議会（平成19年度～）

イ 食中毒発生対策

○監視指導件数：524件

○講習会：14回（受講者延べ297名）。

○食品への苦情：18件

ウ 上京区福祉総合マップ「上京ふくしマップ」の発行

マップの発行にあわせ、上京区社会福祉協議会のホームページにも掲載

（3）地域ぐるみの子育て支援の推進

ア 上京子育て支援連絡会

実務者を中心に各団体等から60名が参加して、講演「子育てはみんなの力で～親・子を支援する地域づくり～」とグループ討議を行い、各機関や地域での取組状況についての把握・共有や意見交換ができた。

イ 上京の子どもまつり

約5,800名が参加し、子育て支援情報コーナーをはじめとして、上京区内の子育てについての横の繋がりを広くPRできた。

ウ すくすく育児サポート教室

区内の子育てサークルや保育所等で子育てや健康についての講演・相談を月一回程度実施した。

(4) 高齢者が元気で暮らせるまちづくり

- ア 地域包括支援センター運営等の充実
センター運営協議会を開催し、地域・各種団体からの情報の共有が図られた。
- イ 敬老記念品お祝い訪問（上京民生児童委員会の実施）
米寿と新百歳の方に対して、小学生が訪問
- ウ 認知症サポートリーダー養成（上京区社会福祉協議会の実施）
各学区に認知症サポートリーダーを育成するために、指導者を養成した。
- エ 介護予防
65歳以上の方を対象に地域出張型の「介護予防出前教室」「生き生き筋力トレーニング教室」を開催

(5) 環境にやさしいまちづくり

- ア 区役所内における資源ごみ分別の推進
一般家庭に先駆け、4月からプラスチックごみを分別。古紙の回収を徹底し、ごみ減量に取り組んだ（一般廃棄物排出量の前年度比30%の減量）。
- イ 市民しんぶん上京区版、上京区ホームページへの啓発記事の掲載
- ウ 「みんなで花を咲かそう」ボランティア活動
環境パートナーシップ補助金を活用し、ボランティアを募り、区役所庁舎玄関前に花を飾り、庁舎に彩りを添える取組を行った。

(6) 「歴史」「文化資源」の紹介、身近にふれる機会づくり

- ア 伝統文化の継承，発信
 - (ア) 上京茶会（春・秋）
 - (イ) 上京薪能
 - (ウ) 『上京一史蹟と文化』の発行（8月・2月）
 - (エ) 上京の歴史見学会
- イ 歴史・文化，イベント情報等の上京区の魅力の広域的発信
 - (ア) 上京歴史探訪館の開館，HPの運営
 - (イ) 上京歴史講座「西陣の魅力へようこそ」
 - (ウ) 歩きたくなるまち上京「歴史散歩」
 - (エ) 源氏物語千年紀事業・連続講座「源氏物語の世界を知る」

2 区の主な事業に関する年間計画（予定）

| シーズン | 事業名 |
|------|------------------|
| 春 | 憲法月間事業 |
| | リレー講習会「平安宮」 |
| 夏 | 上京茶会 |
| | 上京薪能 |
| | 区総合防災訓練 |
| 秋 | ふれあいまつり |
| | ふれあい文化大学 |
| | 歩きたくなるまち上京「歴史散歩」 |
| | 上京の子どもまつり |
| 冬 | ふれあい史蹟ウォーキング |
| | 上京こころのふれあいネットワーク |
| | 人権月間事業 |

注) この年間計画は、昨年度の実績等を踏まえて記載されたものであり、中止・変更されることがあります。

3 区に関する主な施策・事業（平成20年度京都市予算から）

上京区基本計画に掲げる3つの構想に沿って掲載

○ 成熟した市民文化の息づくまちづくり

- ・ 堀川水辺環境整備事業
- ・ 京都創生・景観づくり事業
- ・ 京町家実態調査
- ・ 耐震診断士派遣（木造住宅、京町家）、耐震診断助成（分譲マンション）
- ・ 耐震改修助成（木造住宅、京町家等）
- ・ 源氏物語千年紀事業「京都創生の地(平安宮)・源氏物語の世界をみんなで再発見」

○ にぎわい産業のまちづくり

- ・ 和装産業活性化戦略プランの策定
- ・ 西陣機業振興対策、京友禅振興対策
- ・ ぐるり界わい・観光案内標識のネットワーク化（～平成22年度）
- ・ ニューツーリズム創出事業
- ・ 商店街等支援事業
- ・ 中小企業金融事業

○ 自治と福祉のまちづくり

- ・ 地域支援事業（介護予防事業、包括的支援事業等）
- ・ すくすく育児総合支援事業
- ・ ごみ減量相談窓口事業
- ・ 生ごみ等の分別収集による新たなエネルギー生成モデル実験
- ・ 開かれた学校づくり・地域ぐるみの教育の推進
- ・ 3人目以降の子どもの保育料無料化
- ・ 地域の安心安全ネットワークの形成
- ・ 地域力を活かした住宅用火災警報器の設置促進

* 3つの構想すべてに関わる事業

- ・ 個性ある区づくり推進事業～区基本計画の推進
- ・ 次期各区基本計画の策定に向けた取組

4 上京区基本計画推進体制

人づくり ものづくり ふれあい上京21

～上京区基本計画の推進を図るための方策等を決定する中心組織（平成14年8月設立）～

| | | |
|------|-------------------------|--------------------------------|
| 委員長 | 柿野欽吾(京都産業大学経済学部教授) | 成瀬日出夫(上京区民代表) |
| 副委員長 | 朧谷壽(同志社女子大学教授) | 太田保夫(上京区民代表) |
| 委員 | 浅野啓子(上京区民代表) | 奥野邦子(上京区民代表) |
| | 豊田武夫(上京東部医師会会長) | 加藤アイ(上京区民代表) |
| | 臼井健雄(西陣医師会会長) | 高橋康夫(京都大学大学院教授) |
| | 喜多泰弘(西陣千本商店街振興組合理事長) | 廣瀬賢治(上京区民代表) |
| | 礪波修(西陣織工業組合副理事長) | 山田行圓(茶道裏千家秘書次長) |
| | 藤原信生(上京区民代表) | 亙重好(上京区民代表) |
| (顧問) | 余根田保(京都市福祉ボランティアセンター所長) | 城戸信一(上京区保健協議会連合会会長) |
| | 出雲路敬直(京都国学院講師) | 村井康彦(京都市美術館館長, 上京区基本計画策定懇談会座長) |
| | 高瀬博章(上京区自主防災会協議会会長) | |

(敬称略)

「人づくり ものづくり ふれあい上京21」で提言された具体策を検討

ふれあい上京21部会

具体化検討する主な構想

『自治と福祉のまちづくり』

| | |
|------|---------------|
| 部会長 | ○成瀬日出夫 (乾隆学区) |
| 副部会長 | ○廣瀬賢治 (室町学区) |
| | ○亙重好 (京極学区) |
| 委員 | 川田雄司 (成逸学区) |
| | 高橋孝三 (西陣学区) |
| | 松本勝美 (翔鸞学区) |
| | ○浅野啓子 (嘉楽学区) |
| | 布下善一 (桃菌学区) |
| | 藤田美雄 (小川学区) |
| | 垣貫敏彦 (仁和学区) |
| | ○太田保夫 (正親学区) |
| | 古井明之 (聚楽学区) |
| | ○藤原信生 (中立学区) |
| | ○加藤アイ (出学区) |
| | 福本和子 (待賢学区) |
| | 立入嘉啓 (滋野学区) |
| | 小谷進一 (春日学区) |

(敬称略)

○印は推進会議委員

平成15年7月設置, 17年7月改組

しみん文化部会

具体化検討する主な構想

『成熟した市民文化の息づくまちづくり』

『にぎわい産業のまちづくり』

| | |
|------|--------------------------------|
| 部会長 | ○朧谷壽 (同志社女子大学教授) |
| 副部会長 | 出雲路敬直 (京都国学院講師) |
| 委員 | 鋤柄俊夫 (同志社大学准教授) |
| | 高橋孝三 ((財)西陣織物館元専務理事) |
| | ○高橋康夫 (京都大学大学院教授) |
| | ○成瀬日出夫 (人づくりものづくりふれあい上京21副委員長) |
| | 山中恵美子 (京・町家文化館副館主) |

(敬称略)

○印は推進会議委員

平成17年7月設置

連携

地元情報の収集や
イベント開催等の
際に連携し、取組
を推進する。

平成20年度上京区運営方針についての区民の皆さまから
のご意見・ご提案をお待ちしております。

上京区役所区民部総務課
電 話 075-441-5029
FAX 075-432-0566
平成20年6月発行